



レインボー8月

府中市立栗生小学校

3年学級通信

No.9

令和5年8月23日



2学期が始まりました！

約1ヶ月の夏休みも終わり、小学校に子ども達の元気な声に戻ってきました。どの子ども楽しそうに夏休みの思い出を話してくれます。

さて、1年間で一番長い2学期ですが、社会見学やマラソン大会、学習発表会など、たくさんの行事もあります。日々の学習だけでなく、様々な行事を通しての成長もあると思います。どんな目的でやるのか意識し、自分はこの行事を通してどんなことを頑張っていくのか目標をもって、さらに成長できることを期待しています。

引き続き、保護者の方々には、学校に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

転校生が来ました！！

1学期の終わりに高橋大空さんとお別れしてとても寂しかったですが、2学期から3年生に転校生が一人来ることになりました。

名前は「芦 美竹」(ロウ メイビ)さんです。中国から転校してきた女の子です。日本語はこれから勉強していくので、子ども達がメイちゃんにいろいろ教えてくれることを期待しています。反対に、メイちゃんからも中国のことを教えてもらえるといいなと思っています。

みんなで仲良く遊んだり勉強したりしましょうね！



平和学習がありました

8月4日の登校日に平和学習がありました。

当日は、体育館で読み聞かせボランティアの方の本の読み聞かせがありました。日本でも昔、戦争があってたくさんの人々が亡くなったこと、平和なことは当たり前ではなく感謝しなくてはならないことなどを教えていただきました。最後に校長先生が、「自分が平和のためにできることを考えてください。」と言われました。その後、子ども達は教室に帰り、平和について考えたことを振り返りました。

児童の振り返りより

今日、平和集会で知ったことは、日本は平和だが、平和でない国が今もあるということだ。今もウクライナとロシアは戦争をしている。それにまきこまれている人の気持ちを考えてみると、そうとうつらいと思う。その気持ちは、戦争がおわれれば消えるものではない。なぜなら、心には残るからだ。

ぼくが平和のためにできることは、ぼう力をふるわないで、なるべく友だちにやさしくすることだ。そうしたら、みんなのえがおがふえるだろう。また、泣いている子がいたら、助けてあげたい。けんかも戦争もおこさないようにがんばりたい。

わたしが平和のためにできることは二つあります。

一つ目は、こまっている人を見たら、「だいじょうぶ？」と声をかけてあげることです。理由は、声をかけると、自分もあい手もいい気持ちになるからです。二つ目は、たくさんの人と友だちになることです。理由は、友だちの輪が広がれば、平和になると思うからです。

私は、ボランティアの人の話を聞いて、平和は大切だと思いました。

工夫して書こう

児童の日記より ※学習したことを生かしながら書くことができています。

サラ先生とのさい後のえい語

「十四番の人にしよう。」

その声から始まったクイズ大会でした。

ドキドキ、ドキドキ。だれにあててもらえるのかな。クイズのヒントがかんたんな人、おもしろい人、いろいろな問題がありました。自分の順番が来たとき、私ははずかしくなりました。でも、こたろうくんが、

「かなもも、がんばれ！はずかしくないよ！」

と言ってくれたので、とてもうれしかったです。

私は、何問かクイズの答えが分かりました。とても楽しいえい語のじゅぎょうでした。

文頭に話し言葉が入ることによって、印象に残る書き出しができています。

擬音語の使用

効果的な話し言葉

2学期から新しいALTの先生が来られます。アイリーン・メンデス先生と言われます。今までは、1週間に1日だけ来校されていましたが、これからは毎日栗生小学校に来られます。とても優しい先生です。これからの外国語活動の学習を楽しみにしててください！！